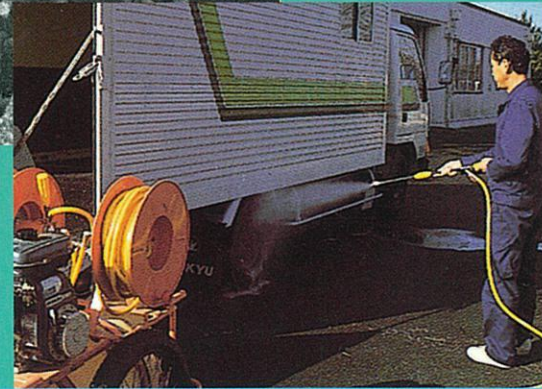
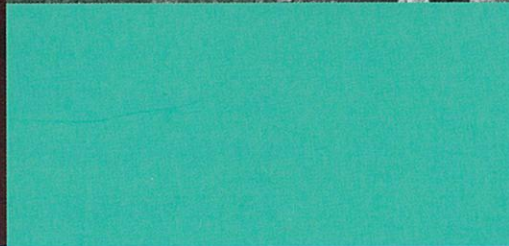
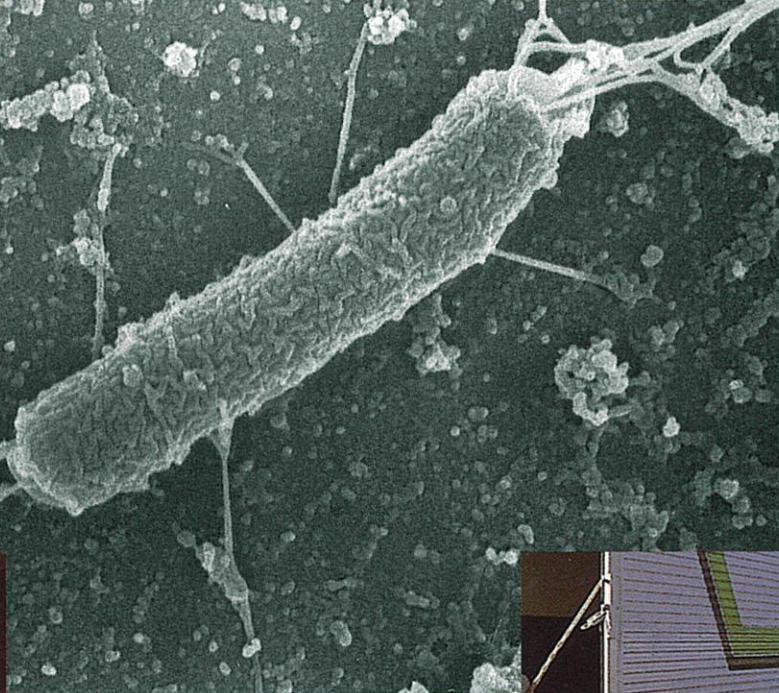
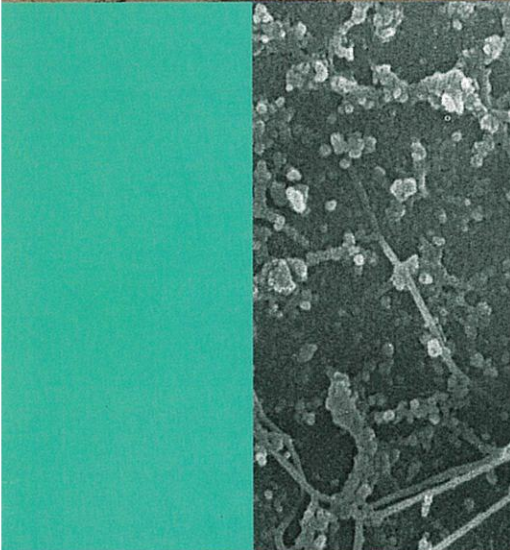
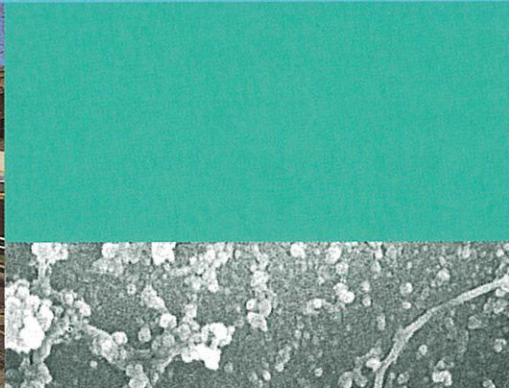


消毒法 Q&A

社団法人 全国家畜畜産物衛生指導協会



はじめに

「消毒とは感染防止のために病原体を完全に殺菌除去することであり、滅菌とは病原体および非病原体の区別無く全ての微生物を殺菌除去することである」。このように一口で言ってしまえば実に簡単ですが、工夫改良されてきたとはいえ、市販されている殺菌・消毒機や消毒薬の効能書きをそのまま鵜呑みにすることはとても危険です。

現在、色々な消毒薬が市販されていますが、使用目的において一長一短あり、私たちはとかく使い慣れた薬剤を選びがちです。消毒薬に対しては、滅菌検知カードのように一見して判断できるような殺菌効果判定法がないため、これで果たして殺菌効果があるのかと疑わざるを得ないような低濃度の消毒液や薄汚れた消毒液が平気で使われていることもあります。

消毒法を正しく行うための指針となるべきデータは極めて乏しく、現段階でこれが決定版であると言えるような消毒法を示すことはできません。しかしながら、今までどちらかと言うと、消毒法に関する書物は消毒薬の種類、性状、効能、消毒手技、注意事項等を羅列して書かれているものが多く、予備知識と十分な経験がないと使用に際して理解に苦しむことが多々見られました。また、現実的には殆ど使用されていない古い消毒薬や公害問題などにより使用困難なものまでが同列に扱われています。

ここでは、必要最低限度の知識のみをQ&A方式で記載してあります。従って、ここに記載した以上の詳細な内容または多くの事象を知りたい方々は消毒法の専門書を紐解いて頂きたいと思えます。

目次

はじめに	1
Q&A 1. 消毒法の種類は	2
2. 煮沸消毒法の注意点は	2
3. 紫外線消毒法の注意点は	3
4. 殺菌灯による厩舎消毒の効果は	3
5. 雑菌灯の照射時間と殺菌効果との関係は	3
6. ホルマリンガス消毒法の注意点は	4
7. 馬房のホルマリンガス消毒法は	4
8. ホルマリンガス消毒後の中和法は	5
9. 通常使用される消毒薬は	5
10. 法定伝染病の消毒薬は	5
11. 通常使用される消毒薬の作用機序は	6
12. 各種の病原体に対する有効な消毒薬は	6
13. 代表的な消毒薬の用途別使用濃度は	6
14. 消毒薬の濃度、温度、時間の消毒効果への影響は	7
15. サルモネラ菌の消毒は	8
16. 緑膿菌の消毒は	8
17. 破傷風菌の消毒は	9
18. 真菌の消毒は	9
19. 内視鏡の消毒は	10
20. 体温計の消毒は	10
21. 手指の消毒は	10
22. 厩舎の消毒は	11
23. 寝糞の消毒は	11
24. 堆肥による醗酵消毒の注意点は	11
25. 希釈した消毒薬の使用期限は	12
殺菌消毒剤・防虫殺虫剤一覧	12
殺菌消毒剤	12
防虫殺虫剤	13

消毒法 Q&A

Q1

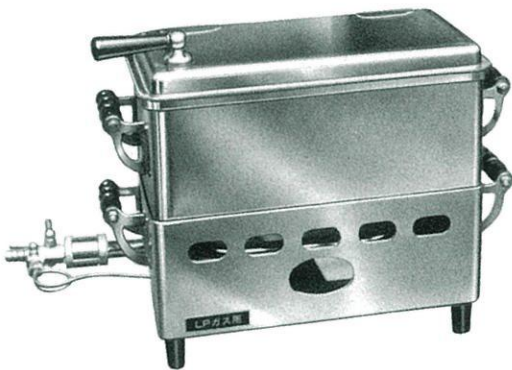
消毒法の種類は

- A** 消毒法は大別すると以下の3種類に分類されます。
- ①加熱消毒法：沸騰水中に沈めて微生物を殺菌する煮沸消毒法、加熱水蒸気を流通させて殺菌する流通蒸気消毒法、加熱及び培養を繰り返して殺菌する間欠法等。
 - ②紫外線消毒法：254nm付近の紫外線殺菌灯により微生物を殺菌する方法。
 - ③薬液消毒法：消毒薬を作用させて微生物を殺菌する方法。
- 注) ホルマリンガスやエチレンオキシドガスによる消毒は通常滅菌法に分類されます。

Q2

煮沸消毒法の注意点は

- A** 煮沸法については、以下の点に留意する必要があります。
- ①一般的に芽胞以外の菌は、65℃—10分、80℃—5分、100℃—瞬時に殺菌されるが、芽胞は弱いものでも15分、強いものでは3時間も生存する。
 - ②1～2%の炭酸ナトリウムを加えた場合で沸騰後20分以上、無添加では30分以上消毒する（ゴム製品やガラス製品は炭酸ナトリウムの添加により劣化する）。
 - ③海拔300mでは約5分間、高地では更に長時間、煮沸時間を延長する必要がある。



煮沸消毒器

Q3

紫外線消毒法の注意点は



馬房内殺菌灯

A 殺菌灯の使用に際しては以下の点に留意する必要があります。

- ①紫外線の効果は照射表面だけで、影や埃に覆われた部分は殺菌されない。
- ②気流のあるところでは著しく殺菌効果が低下する。
- ③低温や高湿度の条件下では殺菌効果が低下する。
- ④紫外線ランプの埃は1~2週間毎にアルコール綿等で拭かないと殺菌力が低下する。
- ⑤紫外線ランプの寿命は15W以上の製品で165日(4,000時間)である。



Q4

殺菌灯による 厩舎消毒の効果は

A 殺菌灯は、
①密閉できて空気の入出がない、②温度が20℃以上、
③湿度が60~70%以下、④埃がない等の条件下で最も高い殺菌効果を示します。一般的に厩舎は天井が高く、通常開放されています。また、密閉される機会の多い冬期には室温が低く、塵も多いことから、十分な殺菌効果は期待できないと思われます。

(適) 隔離厩舎、解剖室、手術室、器具・器材、衣服等の消毒。

Q5

殺菌灯の照射時間と 殺菌効果との関係は

A 紫外線の殺菌効果は距離の2乗に反比例します。下記に照射距離と病原体に対する殺菌時間との関係を示しました。

照射距離	グラム陰性菌	グラム陽性菌	芽胞菌	真菌
1m	約3分	約5分	約18分	約2時間
2m	$3 \times 2^2 = 12$ 分	$5 \times 2^2 = 20$ 分	$18 \times 2^2 = 72$ 分	$2 \times 2^2 = 8$ 時間
3m	$3 \times 3^2 = 27$ 分	$5 \times 3^2 = 45$ 分	$18 \times 3^2 = 162$ 分	$2 \times 3^2 = 18$ 時間

Q6

ホルマリンガス消毒法の 注意点は

A ホルマリンガス消毒では以下の点に留意する必要があります。

- ①多孔質、チューブ、排泄物、汚物等への浸透性は悪く、殺菌効果は期待できない。
 - ②温度が20℃以下、湿度が50%以下の条件下では、殺菌効果が急激に低下する。
 - ③テープ等で完全に密閉する必要がある。
 - ④人や馬の呼吸器粘膜を刺激し、咽頭充血、呼吸困難、蛋白尿を起こす。
 - ⑤化学的に重合して表面を覆うことがあり、器具類の消毒には推奨できない。
 - ⑥残存するパラホルムアルデヒドを取り除くには1週間程度の期間が必要であり、アンモニア水による中和でもアンモニアガスが残存する。従って、一般的な動物飼養管理面からの厩舎・馬房等の消毒には用いるべきでない。
- (適) 隔離厩舎・馬房、悪性伝染病発生厩舎・馬房、
孵卵器等

Q7

馬房のホルマリンガス 消毒法は

A ホルマリンガスによる消毒は、以下の要領で行います。

- ①寝糞、糞尿、塵等を取り除き、入口を除く窓等をテープで密封する。
- ②1m³当たり20gの過マンガン酸カリウムを大きめの容器に入れ、床面の真中に置く。
(ホルマリンの煮沸による吹き溢れを防ぐ)
- ③1m³当たり20mlのホルマリンに等量の水を加えたホルマリン希釈液を準備する。
- ④ホルマリン希釈液を過マンガン酸カリウムの上に注いだ後、直ちに退去し入口の戸を閉め、テープで密封する。
- ⑤翌日、アンモニア水等によって中和、その後開放して約1週間後に使用する。

容 積	対 象 物	ホルマリン	水	過マンガン酸カリウム
1m ³	孵卵器等	20ml	20ml	20 g
30m ³	馬房 (3×4×2.5m)	600ml	600ml	600 g

Q8

ホルマリンガス 消毒後の中和法は

A 残留するホルムアルデヒドを水洗、アンモニア水の散布、蒸発等によって中和します。具体的にはアンモニア水を洗面器、バケツ等に入れ、自然蒸発させるか、又は5倍程度に希釈し、散布することが考えられます。事後、臭いが殆どなくなった時点で、部屋等を開放し、喚起します。

(注) ホルムアルデヒド+アンモニア→ウロトロピン
(ヘキサミン：無味白色結晶末)

Q9

通常使用される消毒薬は

A 消毒薬は化学的に分類すると、10数種類に分けられますが、ここでは繁用されるものだけを記載しました。市販されている動物用消毒薬とその効能については、別表に記載してありますので参考にしてください。

分類	消毒薬
アルコール類	消毒用エタノール、イソプロパノール
アルデヒド類	ホルマリン、グルタル (グルタルアルデヒド)
フェノール類	クレゾール、クレゾール石鹼
逆性石鹼	塩化ベンザルコニウム、塩化ジデシルメチルアンモニウム、アルキルジアミノエチルグリシン、〔モノ、ビス (塩化トリメチルアンモニウムメチレン)〕-アルキル (C9-15) トルエン
両性界面活性剤	塩酸アルキルポリアミノエチルグリシン、ポリアルキルポリアミノエチルグリシン、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル
ハロゲン化合物	ヨードホルム、ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウム
ピグアナイド類	クロルヘキシジン

Q10

法定伝染病の消毒薬は

A 法定伝染病の消毒薬には、次のようなものがあります。

①消石灰 ②サラシ粉 (クロール石灰) 及びサラシ粉水 ③石炭酸水 ④ホルムアルデヒド ⑤ホルマリン水 ⑥クレゾール水 ⑦塩酸食塩水 ⑧苛性ソーダその他アルカリ水剤 ⑨アルコール (70%以上)
なお、薬事法の指定に基づき承認を受けた消毒薬については、指定消毒薬として使用することができます。

Q11

通常使用される
消毒薬の作用機序は

A 消毒薬の作用機序には、①酸化によるもの、②菌体蛋白質と塩をつくるもの、③加水分解によるもの、④菌の蛋白凝固を起こすもの、⑤必須酵素系を阻害するもの等がありますが、代表的な消毒薬は下記に示した3つの作用機序に大別されます。

作用機序	消毒薬
酸化によるもの	ヨードホルム、次亜塩素酸ナトリウム等
菌の蛋白凝固を起こすもの	アルコール、ホルマリン、クレゾール等
必須酵素系を阻害するもの	逆性石鹼、両性界面活性剤、クロルヘキシジン、グルタラルール等

Q12

各種の病原体に対する
有効な消毒薬は

A 各種の病原体に有効および無効な消毒薬を一覧表にして下記に示しました。一般細菌には抗酸菌と芽胞型菌を除く全ての細菌が含まれ、真菌は酵母菌と糸状菌とに大別されます。尚、クラジミアの消毒薬に対する感受性は一般細菌とほぼ同じと考えられます。

消毒薬	一般細菌	抗酸菌	芽胞型菌	真菌	ウイルス
アルコール類	+	+	-	+・- ^{b)}	+・- ^{d)}
ホルマリン	+	+	+	+	+
グルタラルール	+	+	+	+	+
クレゾール	+	+	-	-	-
逆性石鹼	+・- ^{a)}	-	-	+・- ^{b)}	+・- ^{d)}
両性界面活性剤	+	+	-	+・- ^{b)}	+・- ^{d)}
次亜塩素酸ナトリウム	+	-	+・- ^{c)}	+	+
ヨードホルム	+	+	+・- ^{c)}	+	+
クロルヘキシジン	+	-	-	+・- ^{b)}	+・- ^{d)}

＋：有効　－：無効　a) 緑膿菌の一部が耐性　b) 糸状菌が耐性
c) 50ppm以下で無効　d) リピッド含有ウイルスが耐性

Q13

代表的な消毒薬の
用途別使用濃度は

A 常用される消毒薬の通常使用濃度および倍数を用途別に記載しました。

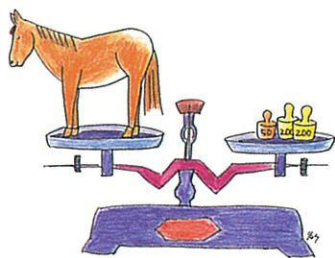
消毒薬	手指・器具	厩舎衛生等	汚染厩舎等	糞便・踏込み
クレゾール石鹼（50%）	50～100倍		100～200倍	25～50倍
逆性石鹼（10%）	100～200倍	500～1000倍	100～200倍	50～100倍
両性界面活性剤（10%）	100～200倍	500～1000倍	100～200倍	50～100倍
次亜塩素酸ナトリウム（4～6%）	100～500倍		200～500倍	50～100倍
複合ヨード剤（10%）	50～100倍	（500～2000倍）	200～500倍	
クロルヘキシジン（5%）	50～100倍			
複合製剤（オルソ剤）				50～100倍

Q14

消毒薬の濃度、温度、時間の消毒効果への影響は

A 一般的には以下の様な影響があります。

- ①濃度：一般に高濃度ほど作用が強い。最も影響を受けるのはエタノールで、60～95%で最強。クレゾール石鹼も強く影響を受ける。これらは、一定の濃度以下ではほとんど殺菌効果が期待できないので注意する必要がある。一方、逆性石鹼、両性界面活性剤、クロルヘキシジン、ヨードホールは希釈によって殺菌力が低下するが、作用時間を長くすることにより殺菌効果が得られる（一般に、濃度を1/2にすると作用時間は4～8倍も必要になる）。
- ②温度：一般に高温な程作用も強い。消毒薬の効力試験は20～25℃で行われており、20℃を最低温度として使用することが望ましい。
- ③時間：作用時間は濃度と温度に影響を受ける。両性界面活性剤、逆性石鹼、ホルマリンは持続性があり、低濃度でも作用時間を長くすれば殺菌効果が得られる。一方、次亜塩素酸ナトリウム、ヨードホールも濃度により作用時間の影響を受けるが、長時間の持続作用は認められない。従って、エタノールと同様に即効性を発揮できる十分な濃度で使用することが望ましい。

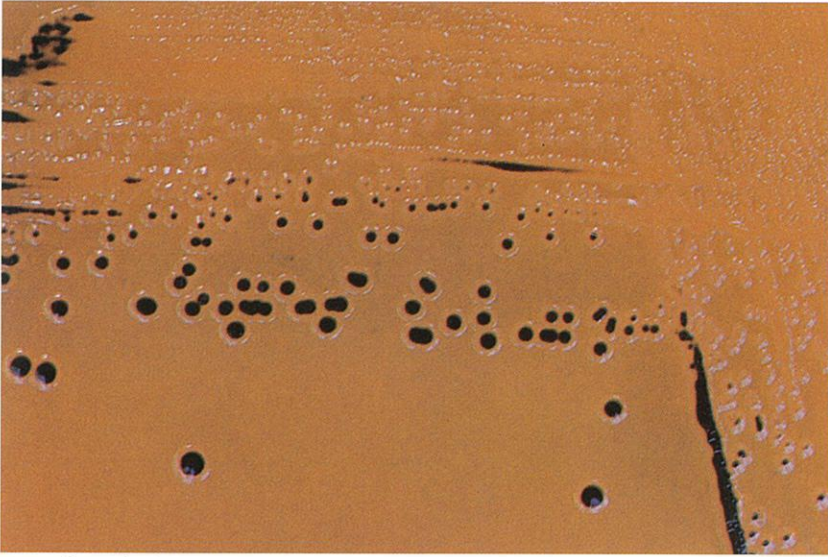


消毒薬の濃度は正確に。

Q15

サルモネラ菌の消毒は

A サルモネラ菌は芽胞を形成しないため、消毒薬に対する抵抗性はさほど見られません。したがって、一般細胞に適応する消毒薬の使用により、十分に消毒可能です。馬パラチフスの消毒については、家畜保健衛生所の指示を受け、法定伝染病の消毒法に準じて行う必要があります。



DHL寒天培地上のSalmonella typhimurium集落
(37°C・18時間培養)

Q16

緑膿菌の消毒は

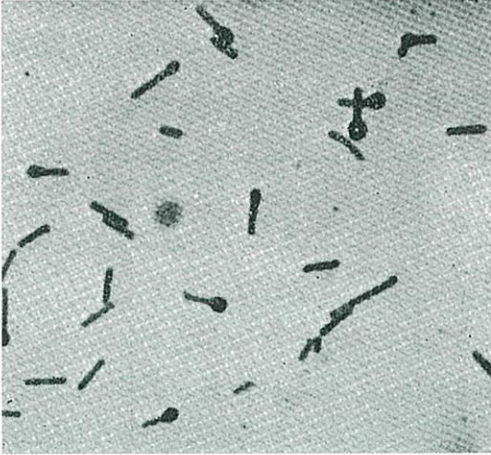
A Pseudomonas属菌のうち、特に消毒薬に抵抗性を示すものはP.cepaciaで、人では大きな被害を与えています。馬では現在のところ全く問題になっていません。一般に馬で問題となる緑膿菌は、通常のグラム陰性菌よりもやや消毒薬に抵抗性を示すものの、それ程の差はありません。したがって、一般細菌に適応する消毒薬の使用により、十分に消毒可能です。



Pseudomonas. aeruginosa
走査型電子顕微鏡写真

Q17

破傷風菌の消毒は



破傷風菌

A 破傷風菌は芽胞を形成するため、消毒薬に対する抵抗性が強く、多くは5～15分間の煮沸で死滅しますが、3時間の煮沸を必要とする場合もあります。乾熱では150℃－1時間、5%フェノールでは2時間の作用にも抵抗するため、オートクレープ（121℃、15分間）による高圧蒸気滅菌が最も推奨されています。消毒薬ではホルマリンやグルタラルが効果的ですが、ヨード剤で2～3時間、次亜塩素酸ナトリウム（pH9.1、500ppm：ピューラックスで100倍希釈）で5分間作用させると滅菌可能です。

なお、破傷風は届出伝染病ですので、家畜保健衛生所の指示を受けて消毒を実施する必要があります。

Q18

真菌の消毒は



馬白癬症

A 真菌はカンジダやクリプトコッカス等の酵母とアスペルギルスやトリコフィートン等の糸状菌に分けられ、消毒薬に対する抵抗性がやや異なります。

①酵母：通常芽胞以外の菌と同程度の感受性を示す。塩化ベンザルコニウム、クロルヘキシジン、ヨードホール、グルタラル、次亜塩素酸ナトリウム、エタノール等が有効。

②糸状菌：消毒薬に対してやや抵抗性を示す。次亜塩素酸ナトリウム、グルタラル、消毒用エタノール、ヨードホールが有効。また、逆性石鹼も比較的有効。

Q19

内視鏡の消毒は



光学機器の浸漬消毒

A 内視鏡の消毒は、一般的にはガス滅菌や0.1～0.2%グルクロン酸クロルヘキシジン、0.1～0.2%逆性石鹼による10分間程度の浸漬で十分と思われます。しかし、伝染病や抵抗性の強い菌、或いはウイルスによる伝染の危険性のある場合は2%グルタラールに約1時間程度浸漬します。消毒後は水洗し、乾燥させておき、使用時には滅菌蒸留水で洗ってから使用します。

Q20

体温計の消毒は

A 体温計の消毒は一般的には流水と石鹼水で洗浄するだけで十分と考えられます。しかし、より安全性を求めるためには、洗浄後、100倍程度に希釈した逆性石鹼等に10分間浸漬または清拭する必要があります。また、伝染病や抵抗性の強い菌、或いはウイルスによる危険性のある場合は2%グルタラール、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを用い、10分間浸漬します。

Q21

手指の消毒は



A 石鹼と流水によって手指を洗浄してもかなり清潔になりますが、通常約100倍に希釈したクロルヘキシジン、逆性石鹼、両性界面活性剤等を洗面器に入れ、必要に応じて手指を浸して良く擦って消毒します。一般的に、約30回の手洗いにより、消毒薬の残存率は85%に低下しますが、使用可能と考えられます。しかし、耐性菌等は残存すると言われ、通常6～8時間で交換する方が良いとされています。

Q22

厩舎の消毒は

A 一般的な厩舎消毒は、馬の健康管理の目的で行うことが多く、日和見感染菌をターゲットとします。したがって、馬や環境に悪い影響を与えないような消毒薬と濃度を選択し、2～4週間に1回定期的に行なったり、入厩時に行ないます。通常、厩舎の外や土壌は1000倍程度に希釈した逆性石鹼や両性界面活性剤で噴霧消毒し、馬房の床等は生石灰を散布します。環境細菌や馬由来細菌の総数を激減させることはできませんが、日和見感染菌などの菌数を一時的に低下させ、一定の菌数以下に抑えることができます。

Q23

寝藁の消毒は

A 通常、日光消毒により行ないます。馬の健康管理という点では、寝藁を紫外線消毒し、乾燥させるこのやり方は、非常に優れた方法と考えられます。しかし、曇った日には紫外線は減弱すること、午後遅くまで干すと逆に湿気を吸いやすいこと、病原体が寝

藁乾しにより伝播する危険性があること等を念頭に置いて行なう必要があります。また、汚れた寝藁は通常堆肥にして醗酵消毒します。なお、病原体で汚染された寝藁は、焼却したり、残存性の弱い消毒薬を50～100倍程度に希釈して何度か散布して消毒後、最終的には穴に埋めて醗酵消毒させます。



寝藁乾し

Q24

堆肥による 醗酵消毒の注意点は

A 通常、汚れた寝藁は、堆肥舎または堆肥場所に積み重ねて醗酵消毒します。適切な条件下では、堆肥中の温度は70～80℃まで上昇し、熱に弱い細菌から徐々に殺菌されます。堆肥を十分に醗酵させるためには寝藁の厚さ、湿気、糞尿などの混入が必要で、乾燥する時期には定期的に水を散布します。この方

法により、通常の馬由来細菌はほとんど殺菌されますが、芽胞菌は長い間生存します。

Q25

希釈した消毒薬の 使用期限は

A 水道水や新鮮な蒸留水で希釈した消毒薬は、長時間保管すると微生物の汚染を受けるので、調整後24時間以内に使用し、ヨードホールや次亜塩素酸ナトリウムは8時間以内に使用を完了する必要があります。また、グルタールは緩衝剤を添加後不安定になるので、7日間以内に使用すべきです。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所栃木支所

鎌田正信

この刊行物は、平成3年3月、軽種馬防疫協議会より発行されたものを一部改定のうえ編集したものである。

殺菌消毒剤・防虫殺虫剤一覧

ここに収載した製剤名及び販売元は社団法人日本動物薬事協会発行の「動物用医薬品医療機器要覧（2006）」より抜粋したものである。効能効果については類似成分ごとに解説してあるので個別製剤ごとには各製剤の能書に記載された内容によらるたい。

殺菌消毒剤

1. アルコール及びアルデヒド製剤

製剤名	販売元	効能・効果
エクスカット25%・SFL	(株) 科学飼料研究所	畜舎及びその設備、手術解剖用器具機材の消毒
グルタクリーン	日本全薬工業 (株) (株) 科学飼料研究所	
グルターZ	日本全薬工業 (株)	
ヘルミン25	川崎製薬 (株)	

2. 逆性石けん製剤

製剤名	販売元	製剤名	販売元
アストップ	明治製薬 (株)	サニスカット	(株) 科学飼料研究所
アストップ200	明治製薬 (株)	デスマック	ロック化学製品 (株)
アリバンド	シェリング・ブラウ アニマルヘルス (株)	パコマ	明治製薬 (株)
獣医用オスバン10%消毒剤	シェリング・ブラウ アニマルヘルス (株)	パコマ200	明治製薬 (株)
クリアキル-100	ベーリンガー・インゲルハイム・ベトメディカ ジャパン (株)	パコマL	明治製薬 (株)
クリアキル-200	ベーリンガー・インゲルハイム・ベトメディカ ジャパン (株)	バンボックス100	フジタ製薬 (株)
クリアキル・ドライ	田村製薬 (株)	バンボックス200	フジタ製薬 (株)
クリーンジャーム	上野製薬 (株)	ベストシール	日本全薬工業 (株)
クリンエール	川崎三鷹製薬 (株)	動物用ベタセプト	日本全薬工業 (株)
クリンエール・200	川崎三鷹製薬 (株)	モルホナイド10	コーキン化学 (株)
		ロンテクト	(株) 科学飼料研究所

効能・効果

畜舎の消毒。畜体の消毒。診療器具、繁殖用器具機械の消毒。
手指、手術野、注射部位の消毒。外傷部位の消毒。

3. 両性石けん製剤

製 剤 名	販 売 元	効 能 ・ 効 果
キーエリアA	オリオンウエストファリアサージ (株)	畜舎の消毒。踏込消毒槽。
動物用ネオラック	有恒薬品工業 (株)	
パステン	(株) 養日化学研究所	
パステンCMX	(株) 養日化学研究所	
パステンコンツ	(株) 養日化学研究所	

4. ハロゲン塩製剤

製 剤 名	販 売 元	効 能 ・ 効 果
クリンナップA	シェリング・ブラウ アニマルヘルス(株)	畜舎の消毒。畜体の消毒。診療器具、繁殖用器具機械の消毒。外傷部位の消毒。
バイオシッド30	ファイザー (株)	
ファインホール	共立製薬 (株)	

5. 複合製剤

製 剤 名	販 売 元	製 剤 名	販 売 元
アンテックビルコンS	バイエルメディカル (株)	動物用タナベゾール	大日本住友製薬 (株)
エイトール	日本全薬工業 (株)	トライキル	明治製菓 (株)
オーチストン	(株) 科学飼料研究所		ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ ジャパン (株)
コックトーン	三共ライフテック (株)	ヘルバン	ニッチク薬品工業 (株)
シービービー	(株) 養日化学研究所		
ゼクトン	明治製菓 (株)		
		ワンショット	三共ライフテック (株)

効 能 ・ 効 果

畜舎の消毒。踏込消毒槽。ハエ、ウジの駆除。

6. その他の殺菌消毒剤

製 剤 名	販 売 元	効 能 ・ 効 果
エボンー12%	液化炭酸 (株)	畜舎及びその設備の消毒。畜体の消毒。動物用医療用具の消毒。
カボックスー10%	液化炭酸 (株)	
カボックスー20%	液化炭酸 (株)	
カボックスー30%	液化炭酸 (株)	
クレンテ	明治製菓 (株)	
スミクロール	住友化学 (株)	
ノルバサン ソリューション	(株) キリカン洋行	

防虫殺虫剤

1. 除虫菊製剤

製 剤 名	販 売 元	製 剤 名	販 売 元
動物用アースノーマット	アース・バイオケミカル (株)	動物用トビタカかとりせんこう	加賀インセクティサイド (株)
愛犬番太巻	コダマ商事 (株)	動物用ドラゴンかとりせんこう	加賀インセクティサイド (株)
動物用安住香	加賀インセクティサイド (株)	バイオフィライ	バイエルクロップサイエンス (株)
キクトールパウダーA	現代製薬 (株)	バイオフィライ	バイエルメディカル (株)
動物用金鳥ETB乳剤	大日本除虫菊 (株)	フマキラー動物用かとりせんこうJ	フマキラー (株)
動物用金鳥スミスリン乳剤	大日本除虫菊 (株)	フロムエイト	日本全薬工業 (株)
動物用金鳥の渦巻	大日本除虫菊 (株)	ペット用アース渦巻E	アース・バイオケミカル (株)
三共スバレン乳剤	三共ライフテック (株)	ペットロング	コダマ商事 (株)
シャレピンドックガード	佐藤製薬 (株)	ヘルメトリン乳剤「フジタ」	フジタ製薬 (株)
動物用シュートかとり香	(株) キンエイクリエイト	ヤシマネオビレ	日本全薬工業 (株)
動物用シントー香	シントーファイン (株)	ヤシマフタスミン	日本全薬工業 (株)
スパックフォルテ乳剤	明治製菓 (株)	ラビタ	住友化学 (株)
スバレン乳剤	三共化学クロップライフ (株)	ルナーイレブンF	シェリング・ブラウ アニマルヘルス(株)
動物用デーリィかとりせんこう	加賀インセクティサイド (株)		

効 能 ・ 効 果

畜舎及びその周辺の衛生害虫（ハエ、カの成虫、幼虫）の駆除・忌避。
外部寄生虫（ダニ、シラミ、ノミ、ワクモ、アブ、サシバエ）の駆除。

2. 有機リン製剤

製 剤 名	販 売 元	製 剤 名	販 売 元
アルファクロンプラス	ノバルティス アニマルヘルス (株)	ネグボン散-3%	バイエルメディカル (株)
動物用金鳥スミチオン乳剤	大日本除虫菊 (株)	プレミアムスミチオン10%乳剤	住友化学 (株)
三共サンモス水和剤	三共ライフテック (株)	ヤシマDDVP油剤	日本全業工業 (株)
スミチオン-1.5%	(株) 養日化学研究所	ヤシマスミチオン10%乳剤	日本全業工業 (株)
スミチオン-10%	(株) 養日化学研究所	ヤシマスミチオンVP乳剤	日本全業工業 (株)
DDVP乳剤	日本全業工業 (株)	ヤシマスミチオン粉剤1.5%	日本全業工業 (株)
トヨダン20%乳剤	バイエルメディカル (株)	動物用ラビホス乳剤	三共ライフテック (株)
ネグボン	バイエルメディカル (株)	ワームサイド粉剤	住友化学 (株)
ネグボン液-20%	バイエルメディカル (株)		
効 能 ・ 効 果			
畜舎及びその周辺の衛生害虫（ハエ、カの成虫、幼虫）の駆除。牧野のマダニの駆除。 外部寄生虫（ダニ、シラミ、ノミ、ワクモ、アブ、サンバエ）の駆除。 （ネグボン：内服療法もある。内部寄生虫の駆除）。			

3. 除虫菊製剤・有機リン製剤等含有製剤

製 剤 名	販 売 元	効 能 ・ 効 果
アルナックス	日本全業工業 (株)	畜舎及びその周辺の衛生害虫（ハエ、カの成虫、幼虫）の駆除。
うじキラーカリユウ	日本全業工業 (株)	
エスミック	住友化学 (株)	
スミロール	住友化学 (株)	
スミロールネオ乳剤	住友化学 (株)	
ワームサイドNP粒剤	住友化学 (株)	

4. カーバメイト系製剤

製 剤 名	販 売 元	効 能 ・ 効 果
サンマコー水和剤75%	三共ライフテック (株)	畜舎及びその周辺の衛生害虫（ハエ、カの成虫、幼虫）の駆除。外部寄生虫（ダニ、シラミ、ノミ、ワクモ、アブ、サンバエ）の駆除。牧野のマダニの駆除。
サンマコー粉剤3%	三共ライフテック (株)	
バリゾン乳剤	明治製菓 (株)	
バリゾン粉剤	明治製菓 (株)	
ボルホ・50%	バイエルメディカル (株)	
ボルホ散-1%	バイエルメディカル (株)	

5. その他の防虫殺虫剤

製 剤 名	販 売 元	製 剤 名	販 売 元
金鳥PPK水溶性粒剤	大日本除虫菊 (株)	ネボレックスKSG2	ノバルティス アニマルヘルス (株)
コレクリン	(株) 科学飼料研究所	ノックバイト	バイエルメディカル (株)
サイクラーテ	日本全業工業 (株)	ハエストン	(株) 科学飼料研究所
サイクラーテSG	日本全業工業 (株)	ハエストン乳剤	(株) 科学飼料研究所
サイクラーテSG5	日本全業工業 (株)	パラサイド乳剤	シェリング・ブラウ アニマルヘルス (株)
三共デミリン水和剤25%	三共ライフテック (株)	ベットアースD	アース・バイオケミカル (株)
シロマジン液10%「フジタ」	フジタ製薬 (株)	ヨモベット	バイエルメディカル (株)
シロマジン粒2%「フジタ」	フジタ製薬 (株)	ラモスSG	住友化学 (株)
動物用シントーJS粒剤	シントーファイン (株)	ラモスSG-Hi	住友化学 (株)
効 能 ・ 効 果			
畜舎及びその周辺の衛生害虫（ハエ、カの成虫、幼虫）の駆除。 カ、サンバエ、ノミ、ダニの忌避。			

日本中央競馬会助成事業

地方競馬益金補助事業

平成 6年3月 第1版第1刷発行
平成20年3月 第1版・補訂版第1刷発行

社団法人 **全国家畜畜産物衛生指導協会**

〒113-0034 東京都文京区湯島3-20-9 緬羊会館内

TEL.03 (3833) 3861

☆許可なく記事の転載を禁じます☆